

vol. 2198

【発行】大分県高等学校教職員組合教宣部 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館
TEL / (097) 556-2838 FAX / (097) 556-8998 MAIL / ohtwu@view.ocn.ne.jp

大分県高教組情報

【発行者】横道 信哉 【印刷】佐伯印刷(株) 【売価】30円(組合員の購読料は組合費の中に入れて徴収しています)



今号の掲載内容 (掲載順)

- 第494回中央委員会開催
- 第41回日教組九州地区協議会「2・11平和教育研究集会」
- 日教組運動をふりかえり、未来に挑む決意を固める 日教組「労働学校」開催
- 2018年度未退職者

第494回 中央委員会開催

と き：2月19日(火) と ころ：教育会館201研修室

第494回中央委員会が開催され、本部が提案した秋季年末闘争などの中間総括と年度末・年度初め、春季生活闘争などに対する当面のとりくみが承認されました。

冒頭あいさつに立った横道信哉執行委員長は、4月の統一自治体選挙ならびに7月に予定されている参議院選挙必勝にむけたとりくみの強化を求めるとともに、1月に出された中教審答申に触れ、「矛盾の根本である給特法の改廃のとりくみはここから。教職員の命や健康のかかる間であり、『働き方改革』の主体は当然ながら私たちです。立ち止まらず前進あるのみ」と決意を新たにしました。

質疑・応答

第1号議案

◇教育文化活動のとりくみ

雄城台：団費職員本人に状況が知らされていない。どのように伝えるべきか。

〔回答〕来年度雇用があることが通知された。状況の説明等については管理職が責任をもって行うべきもの。ただし、不安を抱えている状況なら相談に乗ってほしい。

◇組織強化・拡大のとりくみ

佐伯豊南：現在の組織率はどうなっているか。

〔回答〕数が独り歩きしてしまうことの影響を考え公表することは控えたい。退職者数と加入者数を比較すれば状況は理解していただけると思う。

第2号議案

◇平和と民主主義を守るとりくみ

日出支援：県議に対して、高教組の考え方はきちんと伝わっているか。連携はどのようにして行っているのか。

〔回答〕尾島県議とは定期協議を行い、議会での質問内容について等打ち合わせを行っている。他の県議については、学習会への参加等で高教組の考

え方を理解してもらうようにしている。

討 論

◇教育文化活動のとりくみ

佐伯豊南：教育基本法改悪以降、教科書の右傾化・愛国心賛美が目立つ。私たちがチェックすべき。全国教研に対する報道や街宣行動の数が少なかったように感じる。私たちの活動がどのように取り上げられているか敏感になるべき。

◇平和と民主主義を守るとりくみ

日出支援：発達障害に関する「早期発見・早期療育」は社会モデルではなく医療モデル。インクルーシブ、多様性をみとめる社会とは相容れない。「早期発見」することで、本来その必要がないのに支援学校に行く子どもが増えているのではないか。

日出総合：高校生平和大使に多くの高校生に応募してもらいたい。HR活動がなかなか取れない、クラス扱いになっても「どうしたものやら」と考える担任も少なくないのでは。進路学習も大切だが、もっと幅広く、豊かな活動の土壌となるよう、人権などを含め、平和大使や高校生1万人署名活動などを取り上げてもらいたい。

◇民主的な職場づくりのとりくみ

大分支部：超勤縮減、特に部活動について、実際どこまで動いているのか。来年度は10連休があるので、県教委から保護者等へ説明してほしい。
女性部：出産を控えている教職員に対する代替の配置を含めた支援体制の充実をお願いしたい。女性部では、学習会を通してワーク・ライフ・バランスや「子どもたちに見せるべき姿」についての理解が深まった。「働き方改革」については、部活動のガイドラインが出された今がチャンスではないか。

分かっていない。自分たちが組合活動をやって、子どもたちにも権利というものについて教えられるようになるべき。

雄城台：卒業生の未払い賃金の問題が「ユニオン」を通じが解決でき、「組合が大事」と話した。この子は元生徒会役員であった。生徒会活動は高校時代の糧となりうる。

現業：組織拡大については、忙しい中ではあるが、特に新採用者に対して働きかけをすべき。

◇組織強化・拡大のとりくみ

中津東定：議案に「緑の山河」以外にも「日教組組唱歌」「がんばろう」が載っているが、歌う機会がない。これらも歌って、引き継いでいくべき。
中津支部：未組織であることの意味が

◇教育予算増のとりくみ

日田：冷暖房費の県費負担について、学校の現状に沿ったかたちでの予算措置をお願いしたい。ランニングコストも含め十分な予算を確保してもらい、子どもたちの教育環境の保障をお願いしたい。

討論に対する執行部見解

- ・議員との連携については、基本的なスタンスは私たちと同じ。今後とも学習会や協議の場を通じて、私たちの主張に対する理解を深めてもらえるよう努めていく。
- ・教材については、教科書だけでなく指導書もチェックすべき。そのためにも自主的の教研活動を通じて学習を深めていく必要がある。報道については、報道が少ないのなら、私たちが積極的に情報を発信していく必要がある。広く市民に受け入れられるにはどうすればよいか工夫が必要である。
- ・「働き方改革」の推進にむけては、上限規制のガイドラインにもあるように、教育委員会に地域・保護者への周知を求めている。また、私たちの姿を以って子どもたちに「働き方」を伝えていくべき。
- ・冷暖房費の予算については、高P連も危惧しており、弾力的な運用を求めている。

第41回日教組九州地区協議会 「2・11平和教育研究集会」

と き：2月10（日）、11日（月） ところ：水前寺共済会館グレースシア（熊本市）

日教組九州協議会「2・11平和教育研究集会」は、熊本県で開催され、九州各県から約120人が参加し、大分高教組からも9人が参加しました。

初日の全体会では、上村真理子さん（元高校教員、戦時資料収集家、ピースくまもと設立準備委員）の「私と戦時資料との出会いー愛国少年少女はどのようにして作られたのかー」と題した講演が行われました。戦後生まれの上村さんは兵庫県の勤務校において、学校の歴史を調べる中で戦前の歴史に興味を抱き、教科書・新聞・雑誌・子どものおもちゃ等を収集され始めました。講演では、学校アルバムを通して、学校、生徒の様子等から戦時下の子どもをとりまく環境の紹介がありました。戦前は修学旅行、スキー部などもあり、英語の授業なども行われていた様子が載せられていましたが、戦争を境に、ガスマスクを付けた女学生、校庭に据え置かれた迫撃砲の砲台が掲載され、戦争が激しくなるにつれてアルバム自体もない学年もあったそうです。女学校の面接では「出征兵士の気持ちはどのようなものか。それ（天皇のために命を捧げるといふ決心）と同じ気持ちを詠んだ昔の歌から、「天皇のために命を捧げることがあなたもできるか」という問いがあったり、当時の絵



本や子ども向けの雑誌には、侵略したアジアの国の子どもたちにお菓子をあげる日本兵の絵とともに「ニッポンヘイ ノ スキナモノ ヘイワト ボクタチ コドモデセウ」といった文言が載せられたりと、軍国主義教育、皇国教育に突き進んだ日本の様子を語られました。戦争体験者が少なくなる中で、戦争の記憶をいかに伝え、教訓としていくか、考えさせられました。

翌日は、6つの分散会が開かれ、活発な実践交流と意見交換の場となりました。大分高教組からは、佐藤新太郎さん(宇佐産業科学分会)が「[足元]から考えてみた本校の平和教育－[宇佐市平和ミュージアム]建設準備応援活動を通じて－」と題してレポート報告を行いました。以下、参加者からの感想です。

上村真理子さん

第1分散会

谷口 博昭(三重総合)

鹿児島高の学校司書から「殺人ロボットがやってくる」という漫画を使った平和学習のとりくみと、福岡の小学校でとりくんだ「原爆も焼きつくさなかった差別」や「伝えたいだけ一つのこと」という教材を使った平和や人権に関する学習についての発表がありました。九州各県の方々とも交流し、8・6などの平和学習を維持していくことの大切さや、難しく考えすぎず、まずとりくんでいくことの必要性が感じられたとともに、元気が貰えた会でした。

第2分散会

後藤 淳二(日田三隈)

沖縄県の報告は、様々な手法によって平和学習をおこなった際の課題や、1年を通した平和学習の位置付けなどの問題提起がされました。また、福岡高の報告をもとに、定時制高校の生徒に平和学習への学習意欲をかきたてるための手法について話がなされました。

大分県の高校で平和学習が十分に行われていないことを感じるとともに、いかにして子どもたちの学習意欲をかきたてるかを考えさせられる分散会となりました。特設HRAなどではなくとも、日々の会話やHR、授業を通じて子どもたちに語り掛けることから始めていきたいと思いません。

第3分散会

木部 武士(大分雄城台)

久しぶりに平和教育研究集会に参加しました。分科会では長崎県の小学校、鹿児島県の中学校での実践報告があり、どちらも「平和学習活動」をどう拡げていくかという内容で、一方は地域、一方は学校内というものでした。どちらのレポートでも参加者の積極的な意見交換が行われましたが、やはり教職員の中でどうつなげていくかということが全員一致の課題に挙げられました。他県の情勢を聞く限り、大分はまだまだ恵まれている環境であると感じましたが、若い教職員にどう伝えていくかは大分でも喫緊の課題であると感じました。本校で

は昨年、生徒会主催の平和学習会が行われ、子どもたちも平和に関する学びを欲していると感じたので、私たちが改めてこの平和教育をどう進めていくのか腹を割った議論をしていく時だと感じ、仲間の中でもことある毎に声をあげていきたいと思いを強くしました。

第4分散会

佐藤 立也(日出総合)

福岡県からの報告では、地元での空襲を体験者から聞き取り、劇やDVDなどの教材化を通して、つながりも広げているとりくみでした。市の文化財課の協力もあり、青年層を中心に、地域に根付いた平和を学ぶ行事が17年間継続的に行われていました。宮崎高からは、報告者が沖縄戦にこだわり、教科指導の中で沖縄について考える内容のコラムを題材とした指導がされていました。地元での日常的なとりくみの大切さを感じました。

第5分散会

佐藤 慈乃(別府支援石垣原)

佐賀県からは、年間、学校の平和教育担当として、人権集会等で実践されたことの報告でした。「憲法は権力を縛るもの」「沖縄慰霊の日」「アウシュビッツ」など、知識を学ぶことからスタートし、12月には「行動につながる学びづくり」を目標に、「世界人権宣言」を通じて、子ども自らの内発的な行動への志向を標語や作文などに言語化させていました。子どもの感想「人権は一人だけが守るものでなく、世界の皆で守り、理解し、つくりあげるもの」に、学習の成果が良く表されていると感じました。

沖縄高からは、「平和について、あまり話題にされない。また、話題にしにくい」そんな現状の中で、「過去について学んだことから、これからの自分たちの問題として生徒自身に考えさせること」を課題としてとりくんでいる実践報告でした。辺野古の記事を見せる、辺野古へ子どもを連れて行く、それも「偏向教育だ」と、教育委員会へ通報があり、教師の自由な発言が封じられているのが、沖縄の実態。その中で、朝の10分やLHRを捉えて、教師自身が、ある時は防衛省のHPを見るなどしながら、新聞等の最新の資料も与え続け、継続的に地道に、子どもに考えさせ続けています。「自分の生活の現場の上で起こっている変

化を捉える」という視点だ。勿論生徒の実態は様々ながら、真摯に受け止めている子どももいることが良く伝わる報告でした。

第6分散会

佐藤 新太郎 (リポーター宇佐産業科学)

リポーターとして、自衛隊の内情も訴えてきました。戦時中の日本軍が用いた教科書を未だ自衛隊の教育に役立っているという。詳細は末延隆成他『自衛隊の存在をどう受け止めるのか—元自衛官の思いから憲法を考える—』

(現代人文社、2018)に記載されている。「捕虜の処理」や「尋問という拷問」の章では度肝を抜かれた。ぜひ一読してほしいと思います。

次の日、高校生の企業説明会にクラス生徒全員を引率しました。民間企業に見向きもせず、自衛隊の説明に熱心に聞き入る子どもたちの姿がありました…。若い自衛官の熱心な説明に胸をほだされたという。それも無理はない。日経新聞(2019/1/21)によると、公務員の中で「信頼できる」が最も高かったのは自衛隊で60%に上った、らしい。

次いで信頼度が高かったのは裁判所(47%)、警察(43%)、検察(39%)、教師(32%)の順…。若者や子どもらはだまされやすい。どの時代も弱者は利用され命を落としていく。だからこそ、日々、彼らと向き合い対話していきたい。教育の力を信じて。

第7分散会

春藤 茂伸 (臼杵)

大分県からは、ご自身の父親の戦争体験を聞き取り、地域で行われた戦争の史実と丁寧に照合しながら、小学生向けに物語形式で教材化して行った平和学習について報告されました。「戦争は自分とは関係ない」と思っている子どもたちに、教師が身近な家族の経験

を掘り起こしながら、「大きな歴史」には記録されていない民衆の生き様や思いを伝えようとする情熱に感銘を受けました。一方、平和学習にとりくむ学校が少数派になりつつある高校に勤める自身のとりくみについて反省するとともに、平和について主体的に学ぶ機会を与えられぬまま社会に送り出されている高校生の実情に責任を感じました。

日教組運動をふりかえり、未来に挑む決意を固める 日教組「労働学校」開催

と き：8月22日～24日 ところ：箱根湯本温泉

2月9日～11日に静岡県熱海市において、2018労働学校を開催しました。全国から約100人の組合員、大分高教からも3人が参加し、講義や分散会を通して、日教組運動に関する様々な課題を学びあいました。

かつて「サマースクール」の名称で行われていたこの「労働学校」は昨年12年ぶりに再開されました。今回扱った主な内容は以下の通りです。

- ・日教組の歴史・役割と今後について
- ・学校における長時間労働是正について
- ・労働者自主福祉運動について
- ・組織拡大について
- ・平和運動について
- ・賃金確定について

参加者からは、「他県のとりくみの様子が参考になった。自分の単組でやれることを考えていきたい」等の感想が多数寄せられました。

○大分高教組からの参加者の感想○

・全国から多くの仲間が集まり、日教組運動の歴史や平和運動等について3日間学習が行われました。グループ学習では、働き方改革や組織拡大について話をする事ができました。今回の学習で新たに学ぶこともたくさんありましたし、「社会の不条理なことに対して闘っていく」ことの大切さを再認識できました。新しく知り合いになった仲間もでき、とても有意義な3日間でした。 仁木 史絵 (竹田支援分会)

・労働学校は昨年度より再開となったとりくみです。噂には聞いていましたが、まる三日間、ホテルの会議室のような部屋でひたすら講義形式、たまに分科会です。まるで受験生になった気分でした。年齢層が比較的近く、役員経験のある仲間たちが多く集っていた中で「組合活動が招く多忙化・孤立感」という普段なら声に出しにくい声も出し合うことができました。そんな中で最も印象的だったのは、映像資料として見た日政連議員の活動です。教職員の過重労働問題について国会の場面で、こんなにまで切り込んだ現場実態の話を出してくれているのか、と驚きました。自分が青年部長をしていた頃に、どうしても他の人たちにうまく伝えられなかった「政治と組合活動」のヒントが見えた気がしました。すっかり都会に染まった、則松日教組中央執行副委員長にも久しぶりにお会いでき、有意義な3日間を過ごさせてもらいました。 高山 展明 (爽風館定時制分会)

・一番知りたかった日教組の歴史や経過について学ぶことができ、大変勉強になりました。しかし、もっと長い時間をか

けてもう少し詳しく学びたかったです。そこを学びたいと思って参加したので残念でした。なぜ日教組の組織率は下がり、なぜ地域によって組織率に差があるのか、それがわかることによって各地の組織拡大についてのとりくみ方にも変化が生まれるのではないかと思います。参加して一番良かったことは都道府県をまたいで交流ができたことです。自分がもっと学びを深めて参加できていたなら、もっと深い議論ができる場であることを強く実感しました。

北田 瞬 (鶴崎工業分会)

学校司書部臨時委員会・第2回学習会

とき：2月11日 ところ：高教組研修所

2月11日、高教組研修所で学校司書部臨時委員会・第2回学習会を開催しました。臨時委員会の議題は「学校司書部長選出申し合わせ事項の見直し」で、改訂案が承認されました。学校司書部員数増にむけて、組織強化・拡大の必要性を確認しました。

午後の学習会には19人(うち未組織者5人)が参加しました。まず、段ボール製の円形テーブル「えんたくん」を用いた「8分間読書会」を行いました。参加者は5人程度のグループをつくり、持参した未読の本を読み、8分後に自分が読んだ本について「えんたくん」に記入し情報交換をおこないました。職場の研修会でも可能な、全員参加型の読書会でした。続いての「仕事上の諸問題」では、提起された問題について情報を共有するとともに、解決策について話し合いました。

最後に年度末で学校司書部を卒業する時枝裕子さん(別府鶴見丘分会)から後輩に向けて励ましの言葉をいただきました。

報告：小野陽子(学校司書部長・日出総合分会)



あんしん むすぶ
教職員共済

<http://www.kyousyokuin.or.jp/>

「ムダなく上手に保障を選びたい」あなたに!

トリプルガード

団体生命共済・医療共済

死亡 入院 特定の病 気

「トリプルガード」は、「団体生命共済」の死亡保障と「医療共済」の入院保障、特定の病気に対する保障(=3つの保障)を表す愛称です。「団体生命共済」「医療共済」はセット共済ではありませんので、それぞれ単独でもご加入いただけます。

医療共済/ご契約例

基本契約5口

手術特約5口

先進医療特約(口数なし)

入院 医療共済金

手術 手術共済金

先進医療 先進医療共済金

1日につき**5,000円**
(ガン入院は**10,000円**)
1泊2日以上入院を保障。
一般の入院は1入院につき年間180日まで、ガン入院は日数無制限。

手術の種類により
20万円・10万円・5万円
所定の手術を受けたとき保障。
日帰り手術も対象。

自己負担した技術料相当額
(最高**1,000万円**)
所定の先進医療を受けたとき
自己負担した技術料を保障。

手術や先進医療にも備えてこの掛金!

月掛金
40歳以下の場合 **1,177円**
41歳~60歳の場合 **1,897円**

★61歳以上も段階的に掛金が上がります。

選べる特約

長期入院特約

先進医療特約

ガン診断特約

手術特約

退院特約

生活習慣病特約

女性特定疾病特約

医療共済なら基本契約に上記の特約を付帯することができます。

団体生命共済/ご契約例(20口)

死亡・高度障害

基本契約

2,000万円

死亡または所定の高度障害を負ったとき保障。
(死亡共済金または高度障害共済金をお支払い)

公務・交通災害死亡

公務・交通災害死亡特約(自動付帯)

3,000万円

所定の公務上死亡または交通災害死亡されたとき保障。
(死亡共済金+公務災害死亡共済金または死亡共済金+交通災害死亡共済金をお支払い)

障害

障害特約(自動付帯)

800万円~100万円

所定の障害を負ったとき保障。
(障害共済金をお支払い)

月掛金
40歳以下の場合 **1,840円**

41歳~60歳の場合 **5,260円**

★61歳以上も段階的に掛金が上がります。

※ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください、制度内容をご確認ください。

厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合 共済代理店 大分県高等学校生活協同組合

〒870-0951 大分市大字下郡496-38
(TEL) 097-556-4666

承 18-84-01(1804)

2018年度末 高教組退職者

長い間お疲れ様でした。これからも、お元気でお過ごしください。



この3月をもって34名の組合員の方々が退職を迎えられました。
 これまでの高教組運動へのご協力に深く感謝いたしますとともに、これからのご健勝とご多幸をお祈りいたします。

分会名	教科・職種	名前	分会名	教科・職種	名前
中津北	国語	本和子	大分西	英語	橋本聖子
中津東定時制	調理員	中川澄枝	爽風館定時制	地歴(地理)	大西隆志
宇佐	国語	長野裕子	爽風館定時制	理科(化学)	麻生文吾
杵築	養護教諭	河野美恵子	爽風館定時制	理科(生物)	野田一志
別府鶴見丘	理科(化学)	杉原香代子	爽風館定時制	商業	白石隆夫
別府鶴見丘	英語	小松敬一郎	爽風館定時制	地歴(日史)	坂本浩昭
別府鶴見丘	司書	時枝裕子	由布	保健体育	牧野宏
別府翔青	国語	後藤文英	ろう	家庭	内田美智子
別府翔青	商業	栗林久美	大分鶴崎	芸術(美術)	小池理恵
大分上野丘	公民	阿部昌代	鶴崎工業	工業(化学)	安部秀昭
大分舞鶴	数学	松本博文	大分支援	養護教諭	足立久美子
大分南	数学	山崎邦彦	玖珠美山	事務補佐員	平井由美子
大分南	理科(化学)	室義敏	日田林工	工業(土木)	梅山洋行
大分南	商業	宝珠山豊彦	日田三隈	数学	伊藤博之
大分豊府	数学	實崎克二	竹田	保健体育	中倉幸雄
大分工業	英語	御船省三	佐伯支援	国語	山崎兼雄
大分商業	数学	河野雄二	佐伯支援	家庭	鬼塚佳代

第25回参議院議員選挙立候補予定者 (日政連)



実現
します!

教育、くらし、平和

希望ある未来を子どもたちに!

しゅんいち

みずおか俊一

みずおか俊一 後援会

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館7F
 電話: 03-6265-6078 FAX: 03-6265-6079



URL: <https://mizuoka.net>